

Hokkaido University Sustainability Weeks 2011

# 環オホーツク地域の 環境データ共有化に むけて

Towards the sharing of environmental  
data in the Pan Okhotsk region

The 2<sup>nd</sup> International Meeting of Amur-Okhotsk Consortium 2011  
第二回アムール・オホーツクコンソーシアム国際会合

2011  
11/5・6  
SAT SUN

**参加無料** 事前申込みが必要です  
(先着120名)

日本語 中国語 ロシア語  
(同時通訳あり)

世界でも最高位の生物生産性と生物多様性に恵まれた海、オホーツク海は、近年の地球温暖化やアムール川流域の急速な開発によって、大きく影響を受けようとしています。この問題を未然に防ぐべく、オホーツク海を領有する日本とロシアはもちろん、アムール川を通じてオホーツク海に影響を与える中国とモンゴルを加えた多国間学術ネットワーク“アムール・オホーツクコンソーシアム”が2009年11月に設立されました。本企画は、この組織の第二回目の国際会議です。市民と学生にも参加してもらい、越境環境という地域の共有財産をいかにして保全し、未来世代へと引き継ぐかを学際的な立場から議論することを目的としています。

北海道大学 学術交流会館 第一会議室

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 TEL:011-706-2141 (会館事務室)

## プログラム

11月5日(土) 10:00~18:00

セッション1 アムール川流域の環境とその変化

セッション2 オホーツク海の環境とその変化

セッション3 福島第一原発事故とその海洋環境への影響

11月6日(日) 9:00~18:00

セッション4 アムール・オホーツク地域の社会と経済

セッション5 環オホーツク地域の環境保全に向けた国際連携

総合討論 環オホーツク地域の環境データ共有化にむけて

**主催** 北海道大学 低温科学研究所  
北海道大学 スラブ研究センター  
北見工業大学 未利用エネルギー研究センター  
総合地球環境学研究所

**共催** 北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」  
国土交通省北海道開発局  
道総研 環境科学研究センター  
北海道漁業環境保全対策本部

**協賛** 三井物産環境基金

参加申込み・お問い合わせ先  
北海道大学 低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター  
アムール・オホーツクコンソーシアム事務局  
電話: 011-706-7664 Fax: 011-706-7142  
E-mail: ao-consortium@pop.lowtem.hokudai.ac.jp  
URL: <http://amurokhotsk.com/>



# 環オホーツク地域の 環境データ共有化にむけて

Towards the sharing of environmental data in the Pan Okhotsk region

2011年11月5日(土)

10:00-10:10	開会の辞 本堂武夫 (北海道大学 理事・副学長)
10:10-10:15	コンソーシアム代表挨拶 江淵直人 (北海道大学低温科学研究所)
10:15-10:25	趣旨説明 白岩孝行 (北海道大学低温科学研究所)

<b>セッション1: アムール川流域の環境とその変化</b> 座長: 長尾誠也 (金沢大学環日本海域環境研究センター)	
10:25-10:50	「アムール川流域ロシア領における連邦政府による水文・水文化学モニタリング」 イリーナ・デュギナ (ロシア連邦水文気象・環境監視センター)
10:50-11:15	「モンゴル国ヘルレン川流域における水資源・水文観測・社会経済ならびに環境問題の現状」 オユンバートル・ダンバラジャー (モンゴル水文気象局)
11:15-11:40	「アムール川流域における近年の気候変化と河川起源鉄の挙動に及ぼす影響」 ウラジミール・シャモフ (ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所)
11:40-12:05	「河川結氷期におけるアムール川の汚染と生態学的危険性の諸要因」 リュボフ・コンドラチエバ (ロシア科学アカデミー極東支部・水生態学研究所)
12:05-12:30	「三江平原の自然・耕作湿地における水と栄養塩の生態学的共通管理」 陳欣・黄斌 (中国科学院・瀋陽応用生態学研究所)
12:30-12:55	「アムール川流域における溶存鉄の生成と輸送のメカニズム」 プロジェクトでどこまでわかったのか? 大西健夫 (岐阜大学応用生物科学部)
12:55-14:30	昼食

<b>セッション2: オホーツク海の環境とその変化</b> 座長: 庄子 仁 (北見工業大学 未利用エネルギー研究センター)	
14:30-14:55	「海水がオホーツク海の生物地球化学的過程に果たす役割」 西岡 純 (北海道大学低温科学研究所)、ユーリ N. ボルコフ、アレクセイ・シェルビーニン (ロシア極東水文気象研究所)
14:55-15:20	「オイル・ガスピロプロジェクトに対するオホーツク海の海水モニタリング」 イゴール・ミネルビン (サハリン州立大学)
15:20-15:45	「極東海域の生態学的状況に関するモニタリング」 エフゲニー・カラシェフ (ロシア極東水文気象研究所)
15:45-16:15	休憩
<b>セッション3: 福島第一原発事故とその海洋環境への影響</b> 座長: 阿部健一 (総合地球環境学研究所)	
16:15-16:40	「東日本大震災による汚染を解明し解決するため 海洋科学専門家が進める協同」 池田元美 (北海道大学 名誉教授)
16:40-17:05	「北海道周辺海域の放射性物質のモニタリング結果について」 福山龍次 (道総研 環境科学研究所)
17:05-17:30	「土壌中の放射性物質の状況、挙動、そして対策の課題」 保高徹生 (産業技術総合研究所)
17:30-17:55	「水産資源・野生生物への影響」 松田裕之 (横浜国立大学環境情報研究院)
19:30-21:30	懇親会 (アスペンホテル)

2011年11月6日(日)

<b>セッション4: アムール・オホーツク地域の社会と経済</b> 座長: 楊 宗興 (東京農工大学大学院農学研究院)	
9:00- 9:25	「新プロジェクト『アムール川流域における持続可能な自然管理プログラムのための環境基準と限界』における課題と期待される成果」 ヴィクトール・エルモシシ (ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所)
9:25- 9:50	「アムール川流域ロシア領における環境問題: 過去10年間の傾向と今後の見通し」 ナターリア・ミシナ (ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所)
9:50-10:15	「中国三江平原における土地利用研究」 張 柏 (中国科学院・長春東北地理農業生態学研究所)
10:15-10:35	休憩
10:35-11:00	「非伝統安全のリスクに直面する北東アジア諸国の喫緊的な課題に関して」 一生態安全と環境保全という視点からの情報享受に関して」 笹 志剛 (黒竜江省社会科学院東北アジア研究所)
11:00-11:25	「ロシア極東地域の森林開発と利用」 封 安全 (黒竜江省社会科学院東北アジア研究所)
11:25-11:50	「アムール川集水域における自然資源管理に関する新投資プロジェクト」 ビョートル・バクラノフ (ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所)
11:50-12:15	「北東アジアにおける経済協力の最近の特長」 吉田 進 (環日本海経済研究所 名誉理事長)
12:15-13:30	昼食

<b>セッション5: 環オホーツク地域の環境保全に向けた国際連携</b> 座長: 田畑伸一郎 (北海道大学スラブ研究センター)	
13:30-13:55	「アムール・オホーツク地域の持続可能な発展に向けた協力」 ケン シク・トゥ (サハリン州立大学)
13:55-14:20	「サハリン・プロジェクトと北海道漁業」 石川 清 (北海道漁業環境保全対策本部)
14:20-14:45	「アムール川流域は危険に直面しているか?」 松花江における化学物質の流出の結末と中露協力に対する期待」 エリザベス・ウィシュニック (モントクレア州立大学・コロンビア大学ウエザーヘッド東アジア研究所)
14:45-15:10	「他地域における天然共有資源の保護に関する地域環境協力と条約の検討」 花松泰倫 (北海道大学スラブ研究センター)
15:10-15:40	休憩
<b>総合討論: 環オホーツク地域の環境データ共有化にむけて</b> 座長: 白岩孝行 (北海道大学低温科学研究所)	
15:40-15:55	「我如何にしてロシア極東水文気象環境監視局と科学的連携を構築せしか」 立花義裕 (三重大学大学院 生物資源学研究所)
15:55-16:10	「オホーツク海データの FERHRI との共同解析について」 三寺史夫 (北海道大学低温科学研究所)
16:10-17:40	総合討論 各国幹事からの挨拶 ロシア: ビョートル・バクラノフ (ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所) 中国: 笹 志剛 (黒竜江省社会科学院東北アジア研究所) モンゴル: オユンバートル・ダンバラジャー (モンゴル水文気象局) 日本: 江淵直人 (北海道大学低温科学研究所)

実行委員会:

- 【委員 長】 江淵 直人 北海道大学低温科学研究所・教授 環オホーツク観測研究センター長  
 【実行委員】 白岩 孝行 北海道大学低温科学研究所・准教授  
 田畑伸一郎 北海道大学スラブ研究センター・教授  
 岩下 明裕 北海道大学スラブ研究センター・教授  
 花松 泰倫 北海道大学スラブ研究センター・学術研究員  
 庄子 仁 北見工業大学 未利用エネルギー研究センター・教授  
 谷口 真人 総合地球環境学研究所・教授  
 阿部 健一 総合地球環境学研究所・教授  
 アイソ ウェル 総合地球環境学研究所・助教  
 土肥 諭志 国土交通省北海道開発局・社会開発係長  
 鮎田名穂子 国土交通省北海道開発局・開発専門職  
 福山 龍次 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究所センター・研究主幹  
 野口 泉 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究所センター・研究主幹  
 大西 健夫 岐阜大学応用生物科学部・助教  
 石川 清 北海道漁業環境保全対策本部・事務局長  
 藤谷 直樹 北海道漁業環境保全対策本部・事務局職員  
 篠原 琴乃 北海道大学低温科学研究所・事務員

〒060-0808  
 札幌市北区北8条西5丁目  
 北海道大学学術交流会館 第一会議室  
 TEL 011-706-2141 (会館事務室)

**ACCESS**

JR 札幌駅より徒歩 5 分  
 (駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。)

